

交通死亡者 #26/2008

2008年6月11日（水）午後8時10分、警察は、レイクショアー西通りとロングブランチ通りの交差点で起きた人身事故に出動した。

事件の概要は、

- _ 60才の女性が、レイクショアー西通りを、北から南へ、交差点の西側を渡っていた。
- _ ジープ・グランド・チェロキーがロングブランチ通りの北を走行しており、レイクショアー西通りへ西に向かって左折した。
- _ ジープは被害者に衝突し、被害者は地面に転倒し頭を打った。
- _ 被害者は、生死に関わる怪我を負い、病院へ運ばれた。

6月18日（水）午後7時33分、被害者は事故で負った傷のため、病院で死亡した。

本件は、現在捜査中である。現時点では、まだ嫌疑は問われていない。

本件に関する情報を持つ者は、警察（電話番号 416_808_1900）、および匿名でクライムストッパーズ（電話番号 416_222_TIPS (8477)、またはオンライン www.222tips.com)まで連絡されたい。

JSS 説明

この種の事故は、交通人身事故のうち多数を占めるものである。おりしも警察は、自転車交通の安全を期する集中取締りを行っている。

取り締まり推進に当たって警察は、事故はみな責任であることを強調している。すなわち、交通事故の加害者であることが多い、自動車のドライバーはもとより、歩行者、自転車利用者など道路を使用する誰もが、法の遵守と、常識に基づいた注意を怠らないことで事故が大幅に防止できるとしている。

訳出記事は、事故の詳しい状況を伝えていないが、歩行者事故の場合これまでの多くは、車の不注意や酒酔い、スピードの出し過ぎと共に、歩行者の飛び出しや、横断歩道外の横断も原因のひとつであった。

警察は歩行者に、事故防止のためには横断をドライバーと眼を合わせてからすることを強調している。